

会議記録

高松市附属機関等の設置、運営に関する要綱の規定により、次のとおり会議記録を公表します。

会議名	令和元年度第6回 高松市自主財源検討委員会
開催日時	令和元年12月26日(木) 午前9時00分～午前10時06分
開催場所	高松市防災合同庁舎 3階 301会議室
議題	(1) 中間取りまとめに対して寄せられた参考意見について (2) その他
公開の区分	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 一部公開 <input type="checkbox"/> 非公開
上記理由	—
出席委員	[出席委員数:5人] 肥塚委員、竹内委員、吉田委員、岡田委員、太田委員
傍聴者	0人 (定員 20人)
報道機関	0人
担当課及び連絡先	納税課税制係 電話839-2222

会議の経過及び結果

議題(1)及び議題(2)について、委員長が議長となって会を進行した。

なお、会議の公開については、個人情報など非公開となるような事項の審議は想定されていないので、公開とした。

議題(1) 中間取りまとめに対して寄せられた参考意見について
事務局から、配付資料について説明を行い、協議を行った。
(※会議の主な質疑・意見等は別紙のとおり)

議題(2) その他

事務局から、第7回会議を1月30日(木)に市役所13階 大会議室で開催する予定であることを報告した。

以上

別紙(会議の主な質疑・意見等)

(委員長)

本日の委員会は、委員の過半数が出席しているので、要綱の規定により会議は成立している。

また、本日の会議は、個人情報など非公開となるような事項の審議は想定されていないので、公開ということによろしいか。

(各委員 異議なし)

(委員長)

異議なしということで、本日の会議については、公開ということで進める。

それでは、議題に沿って議事を進めたい。まず、議題(1)の中間取りまとめに対して寄せられた参考意見についてだが、事務局から配付資料について説明をお願いしたい。

(事務局)

議題(1)について、配付資料を基に説明。

(委員長)

今回の参考意見の募集は、本委員会における現時点での議論の状況を明らかにすることにより、市民の皆様を始め各界での議論が活性化するようにという趣旨で行ったものである。

今回いただいた意見は、最終取りまとめの中で、反映できるものは反映させたいと考えている。

なお、次回の委員会で、最終取りまとめを予定しており、本日は、中間取りまとめをベースに、どのように最終取りまとめに反映させていくかという観点で議論したいと思っている。

(委員)

資料6ページの No1、2の「寄せられた御意見(項目ごと)」についての「現状」について、「予算編成においても、スクラップ・アンド・ビルドの徹底」とあるが、どのようなことを行ってきたのか。

(事務局)

毎年、予算編成方針を立てた上で、各局に予算編成するよう財政課からお願いしているが、単に既存事業を止めて新しい事業を行うということだけではなく、事業統合を行ったり、市民にある程度浸透している事業についても、十分に検討した上で、何か新しい事業の事業費の財源として、新たな事業を展開できないかということを考えたりして、スクラップ・アンド・ビルドを行ってきたものである。

(委員)

資料6ページの No1、2の「寄せられた御意見(項目ごと)」の「現状」に書かれた文章

を見ると、高松市ではもう十分に取り組んでいて、これ以上必要ないと書かれているようにも見える。

(事務局)

本市では、これまで歳出削減を色々やってきた。例えば、平成29年度、30年度には、経常経費にシーリングを行った。歳出削減が厳しい状況の中ではあるが、来年度予算については、経常経費についてさらに7%シーリングを行い、そこで削減した財源を緊急度の高い事業に重点化して予算計上することになっている。そのような「現状」を記載しているものである。

(委員)

「寄せられた御意見(項目ごと)」の中には提案もあるが、「寄せられた御意見(項目ごと)」の「現状」の中で、多くの表現が「している」「進めている」「行っている」となっており、意見を寄せた市民からすれば、自分の意見を否定されたように感じるおそれがあるのではないか。

(委員長)

この「現状」欄は、本日の委員会の議論に資するために高松市の現状を記載したものであり、意見を肯定したり否定したりする趣旨で掲載しているものではないが、「現状」欄については、誤解が生じることがないように、「これは高松市の現状を示すものであって、寄せられた意見に対する回答ではない。」という趣旨の注意書きを付けたい。

また、歳出削減については、これまで、本委員会の権限外であることを確認してきている。

(委員)

最終取りまとめに当たっては、寄せられた参考意見の原文を付けてもらいたい。また、実際に制度設計を行うのは本委員会ではないので、実際に制度設計する際には、十分にこの意見を踏まえてもらうようにしてはどうか。

(委員長)

今回の資料の「現状」については、本日の委員会で私たちが議論しやすいようにするために掲載したものであり、最終取りまとめには原文のみを掲載するということによろしいか。

(各委員 異議なし)

(委員長)

それでは、議論を進めていきたい。

資料6～7ページに歳出削減についての意見があるが、本委員会は歳出削減を所管する場ではなく、歳出削減については、今後とも高松市の各関係部局で検討してもらおうものと考えているが、それでよろしいか。

(各委員 異議なし)

(委員長)

次に、資料8～9ページの歳入確保については、まさしく今、本委員会で幅広く検討しているところであり、最終取りまとめでは、これまでに検討してきた内容を記載することになると思うが、それでよろしいか。

(各委員 異議なし)

(委員長)

次に、資料10ページ以降の市税全般や各税についてであるが、ここでは、低所得者への配慮が必要であるということ、もう1つは、税の公平性を確保すべきだということの2点で意見がまとめられると考えている。

No17は、税の公平性についての意見かと思う。

No22は、低所得者に配慮することとあり、これについては本委員会と関係性が強いところである。

最終取りまとめにおいても、記載することになると思うが、それでよろしいか。

(各委員 異議なし)

(委員長)

寄せられた意見をまとめると、歳出削減の事項、そして歳入確保の事項、そして市政全般又は各個別の税の事項という形で大きく分けられ、また、歳入確保については、ネーミングライツやふるさと納税についての新しい取り組みについて、最終取りまとめに盛り込んでいきたいと思うが、それでよろしいか。

(各委員 異議なし)

(委員長)

意見も出尽くしたようなので、議題(1)についての議論を終了したい。

なお、次回の委員会では、最終取りまとめについて議論したい。そのため、たたき台となる素案を私と副委員長で作成し、次回の委員会で示したいがどうか。

(各委員 異議なし)

(委員長)

それでは、副委員長よろしくお願ひしたい。

今日の議論を踏まえて素案を作成し、次回の委員会で意見をもらいたいと思っているので、よろしくお願ひしたい。

それでは、次回の委員会について、事務局から説明をお願ひしたい。

(事務局)

次回、第7回の委員会については、令和2年1月30日木曜日の午前9時から、市役所13階の大会議室で開催する予定である。

(委員長)

それでは、これをもって第6回自主財源検討委員会を終了する。